

健康だより

健康課・医療対策課

☎52-3936

各地域の保健センター

萩原 ☎52-1230

小坂 ☎62-3111

下呂 ☎25-2680

金山 ☎32-4500

肝炎ウイルス検査を受けたことがありますか

＊ウイルス性肝炎とは

ウイルス性肝炎とは、肝炎ウイルスに感染して肝臓の細胞が壊れていく病気です。この病気になると、徐々に肝臓の機能が失われていき、ついには肝硬変や肝がんに至ることもあります。B型及びC型肝炎ウイルスの患者・感染者は、合わせて300万人を超していると推定され、国内最大級の感染症とも言われています。

＊肝臓のニックネームは、『沈黙の臓器』

肝炎になっても、肝臓はなかなかSOSを出しません。「体がだるい」と気付くころには、かなりの重症になってしまっています。でも大丈夫。肝炎ウイルスは、検査で分かります。肝炎ウイルスに感染していても、適切な健康管理・治療で、肝炎から肝硬変や肝がんが悪化するのを予防することが可能です。

＊40・45・50・55・60・65・70歳の方は無料で検査が受けられます

肝炎ウイルス検査は、下呂市国保が実施する「特定健診会場」Ⅱ左表参照Ⅱで受けることができます。

平成23年度に無料で受診できる

対象者は、今年度40・45・50・55・60・65・70歳になられる、この検査を未受診の方です。この検査は今後5年間実施する予定です（国の制度が変わったため、先月号の「健康だより」に掲載した内容が変更されています）。会場では胃がん検診・大腸がん検診も実施しています。

肝炎ウイルス検査は、血液検査で判断します。採血は短時間で済み、また検査結果は1カ月程度でお知らせできます。

希望者は下呂市健康課（☎52-3936）へお申し込みください。

平成23年度特定健診の日程

小坂	6月1日(水)	湯屋地区公民館
	6月2日(木)	小坂保健センター
	6月3日(金)	
	6月5日(日)	
	6月6日(月)	
馬瀬	6月7日(火)	馬瀬中央公民館
	6月8日(水)	馬瀬清流会館
萩原	6月9日(木)	あさんず会館
	6月10日(金)	
	6月13日(月)	
	6月14日(火)	あじさいホール
	6月15日(水)	大ヶ洞公民館
	6月16日(木)	羽根中央公民館
	6月17日(金)	萩原保健センター
	6月19日(日)	
	6月20日(月)	
	6月21日(火)	
	6月22日(水)	
	6月23日(木)	
	6月24日(金)	
下呂	6月30日(木)	中原公民館
	7月1日(金)	門和佐高齢者ふれあいセンター
	7月4日(月)	上原診療所
	7月5日(火)	竹原地区公民館
	7月6日(水)	
	7月7日(木)	
	7月8日(金)	
	7月10日(日)	下呂保健センター
	7月11日(月)	
	7月12日(火)	
	7月13日(水)	
	7月14日(木)	
	7月15日(金)	
	7月19日(月)	
金山	7月20日(水)	菅田公民館
	7月21日(木)	下原公民館
	7月22日(金)	
	7月24日(日)	
	7月25日(月)	東公民館
	7月26日(火)	
	7月27日(水)	金山保健センター

下呂市立休日診療所

下呂市森801-10（下呂市民会館内）

☎24-1200

◆診療科目 内科、小児科（教病患者に限りです）

◆診療日 日曜、祝日、年末年始

◆診療時間 午前9時～午後3時

※事前に電話をしてお越しください。（予約はできません）

※受診の際は、必ず保険証やお薬手帳（ある場合）をお持ちください。

※急病患者専用のため、平常継続して受けている治療は遠慮ください。

6月				5月			
26日 (日)	19日 (日)	12日 (日)	5日 (日)	29日 (日)	22日 (日)	15日 (日)	8日 (日)
村瀬寛紀 (村瀬眼科クリニック)	細江昭比古 (市立中原診療所)	大塚正義 (大塚耳鼻咽喉科医院)	近藤靖士 (近藤医院)	奥村昇司 (おむろクリニック)	田中隆平 (甲内科クリニック)	小林源博 (こはやし整形外科)	二村 克 (二村医院)

こころの健康相談（精神保健相談）

専門医・保健師による相談を行っています。時間は午後1時30分から3時までです。

職場や家庭内などで人間関係での不安や悩みがある・イライラしたり不安な気分になったりする・ひきこもりで悩んでいる・アルコールのことで悩んでいる・高齢者の行動で気になることがあるーこんなとき、気軽にご利用ください。

事前の電話予約が必要です。

●飛騨保健所健康増進課

☎0577-33-1111（内線311）

●5・6月の開催日

5月30日（月）下呂保健センター
6月20日（月）金山保健センター

ポリオ予防接種（5・6月の日程）

●萩原・馬瀬地域（萩原保健センター／受付時間13時～13時30分）【5月25日（水）H22年1月～4月生まれ対象】【6月1日（水）H22年5月～8月生まれ対象】【6月9日（木）H22年9月～12月生まれ対象】

●小坂地域（小坂保健センター／受付時間13時30分～14時）【5月17日（火）H22年1月～12月生まれ対象】

●病院のライフライン

東日本大震災により、災害中・心部の拠点病院では診療不能となりました。南飛騨地域では、津波こそありませんが、同規模の災害下では電気、ガス、水道などのライフラインの破壊が病院機能維持を困難にするでしょう。

●病院の建物は 現在の金山病院診療本館は、1981年に施行された新耐震基準以前の建物で、大地震の際には相当の被害が予想されます。建設中の新病院は免震構造で、地震には強い設計となっています。しかしこれは、建物の中にいる人の命を守り診療機器の破壊を防ぐことができるであろうということであって、診療継続が可能であるということではありません。

診療には電気が欠かせません。病院が備える自家発電装置は、停電時に継続中の診療を無事に終えるためのものであり、その後の診療継続の能力はありません。水の供給も、人工透析など病院にとって大変重要です。診療に必要な水を確保することは不可能で、停電とともに水が供給されなければ、診療は停止します。地域と同じく病院の厨房の熱源は、電気とプロパンガスです。温水は重油ボイラーが供給しています。施設の破壊を免れたとしても、停電となるとこれは使えません。

●重症患者対応 被災重症患者は、早急に搬送することが救命につながります。

大災害と地域病院

すが、陸路搬送は困難でしょう。ヘリコプターによる搬送のためにも、緊急時のヘリポートの有効な配置が必要です。本年より、岐阜県と岐阜大学がドクターヘリを運用しています。平時においても高エネルギー外傷などに対応できるヘリポートが必要です。

●必要な薬剤

外来受診者に処方される飲み薬は、経営上病院には備蓄できません。現在内服薬の相当期間分は院外薬局に用意されています。入院中の患者さんに使用する薬剤については、備蓄できても一週間程度でしょう。それ以上の備蓄については、経費からみても困難で、備蓄には皆さんの病院経営に対するご理解が必要となります。

ヒブ・小児用肺炎球菌の予防接種を再開

●下呂地域（下呂保健センター／受付時間13時～13時30分）【5月12日（木）H22年1月～4月生まれ対象】【5月26日（木）H22年5月～8月生まれ対象】【6月2日（木）H22年9月～12月生まれ対象】

●金山地域（金山保健センター／受付時間13時～13時30分）【5月10日（火）H22年1月～5月生まれ対象】【5月31日（火）H22年6月～12月生まれ対象】

ヒブ（Hib）ワクチンと小児用肺炎球菌ワクチンの接種は、このたび安全性について心配はないとされため、下呂市子宮頸がん等ワクチン接種費用緊急助成事業による、生後6か月以上5歳未満のお子さんを対象とした助成申請の受付を再開しました。申請の受付は次の日程で行っています。

●萩原保健センター（火曜13時～17時）●小坂保健センター（木曜9時～12時）●下呂保健センター（水曜9時～16時）●金山保健センター（火曜終日）

●マンパワー

マンパワー不足も、災害時に病院が無力である大きな要因です。平時でも医師・看護師不足は、充実した地域医療の提供を困難にしています。病院で勤務する地域在住のマンパワーが増えることが望まれます。

●個々の備え

緊急時における地域住民の能力も問われます。応急手当、救命処置などは常日頃の訓練を怠ることなく、今回を教訓としていつでも行動できる体制が必要です。早急な援助は望めないと考えるべきでしょう。耐震対策、備蓄など個人でも備えなければなりません。

下呂市立金山病院 院長 古田智彦